

島の中学校を紹介

これまで、小笠原父島、新島、と扱ってきました島の中学校シリーズ、今回は神津島の神津中学校です。

神津島村立神津中学校での職場体験

神津中学校副校長 津金澤嘉明

本校では、毎年1学期に第2学年の生徒を対象として3日間の職場体験を実施しています。

中学生に社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成することをねらいとしているのは、都内のいずれの中学校とも同様ですが、本校の職場体験では、さらに「島外での体験を通し、自分で考え行動できる力(自立する力)を身に付ける」という目標が加わります。

本校の特色のある取組

本校の職場体験を紹介する上で欠かせない特色が3点あります。

第一の特色は、本校の職場体験では、全て島外の事業所に受け入れを依頼していることです。

生徒たちは、生まれてから十数年、島しょという限られた社会で、顔見知りの地域の人たちに囲まれて成長します。そのような生徒たちにとって、見ず知らずの土地で知らない大人に囲まれて慣れない作業をすることは大変な緊張を強いられるものですが、その分、働くことの大変さや挨拶など社会生活に最低限必要なマナーやルールを学ぶよい機会となります。

第二の特色は、職場体験が宿泊を伴う学習活動であるということです。3日間の職場体験を実施するにあたり、往復の航路を含め、全行程は4泊5日の長丁場になります。乗り慣れていない都内の交通機関について、宿舎から受け入れ事業所までの交通経路と所要時間を確認し、交通費を計算し、不測の事態に陥った時にどのように対処すべきか、一人で移動するための見通しをもつための学習を行います。また、宿舎内での過ごし方や生活のルールなど、職場体験の時間帯以外についても事前の学習を行っています。これらは、冒頭の自分で考え行動する力を育みます。

第三の特色として、島外で職場体験を行う一番のメリットでもありますが、生徒が希望する業種で一人一つの職場で体験を実施できるということです。約20名の生徒に対し、都内の業種は数えきれないほどあります。今年度は、保育所や小売業など職場体験の受け入れ先としてメジャーな事業所から、銀行、ホテル、食品加工業、美術館、イラスト制作会社に至るまで、幅広い事業所にご協力をいただきました。今までに中学生の職場体験を受け入れたことがない事業所であっても、相談をしてみると、島しょから来るということもあり、受け入れてくださる事業所が多く、生徒の意欲の向上につながりました。

本校における成果と課題

3日間の職場体験を経て、生徒たちは普段接することのない職業やそこで働く人々と触れ合うことで、働くことの意義を知るだけでなく、様々な価値観にも触れることができます。それは島しょの中学生にとって、広い世界を知る第一歩であるとも考えられます。その一方で、宿泊を(裏面に続く)



商品整理の様子



製菓店でのケーキ作り作業



博物館での仕事



保育園での様子

伴う職場体験のため、事前学習の内容が長期間、多岐にわたり、本来のキャリア教育としてのねらいが生徒の中から薄れてしまうという課題が本校にはあります。また、地域の事業所で職場体験を実施しないということから、地域の教育力の向上につながらないという一面もあります。しかしながら、お世話になった事業所の方々の多くが中学生の「仕事をする上で大切なことは」の問いかけに、業種を問わず「挨拶をすること」と答えていたように、望ましい社会性や勤労観を学ぶのに、場所のいずれは問わないのだと思います。将来、社会に出て働こうとする人材の礎を築くのは学校の責務でもあります。今後も本校の特色を最大限に生かし、職場体験をより有意義なものにしていきたいと考えます。

親子ふれあい海浜教室

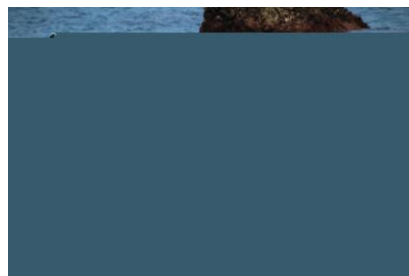
島しょの学校ならではの行事として、神津中学校には「親子ふれあい海浜教室」があります。全校生徒と保護者、教員と地域の方にも協力してもらい「天草採り」をしています。

天候の状況で中止になる年もありますが、今年度は7月2日（土）に実施し、午前中に2回海に入り天草を採取しました。休憩時には、お母さん方が作ってくださった「おしるこ」を食べ冷えた体が温まり、会話ははずみ、心も温まりました。採取した天草は、みんなで干し場に広げて干します。

中学生になると親子の会話が少なくなりがちですが、一つの作業をみんなで（生徒、保護者、教員、地域の方）やることで多くのふれあいが育まれています。

今年の採取量は410kgで3～4日天日干しをして漁協に出荷すると134.5kgで、買取価格が9万円を超えました。この収益は生徒会の予算として活用し、生徒会でアンケートをとり、学校で必要なものを購入しています。

「親子ふれあい海浜教室」を通して、働くことの大変さ、楽しさ、やりがい、親のすばらしさなどを肌で体験し、また神津島の伝統・文化を学び、継承していく、貴重な体験学習となっています。



海に入って天草を採取



天草の水揚げ



おしるこで身も心も温まる



今年の収穫（天日干し前）



ひとつひとつついでいねいに広げ



天日干しにします



こんなにたくさん採れました

都中P推薦 全国学生保障援助会の学生総合保険

お子様のケガやご家族の賠償事故を24時間保障する制度です。「疾病補償プラン」と「ケガ充実補償プラン」を用意しています。扶養者が事故により亡くなられた際には育英

費用のお支払いもあり、在学中に必要な補償を総合的にカバーする設計となっています。昨今話題の自転車に乗っている際に、歩行者の第三者をケガさせた場合の補償も本保険にセットされています。

中学・高校生総合保険
傷害総合保険

かけ足で成長する子どもたちの足もとを「安心」で固めます。

特典 学校生活安心ダイヤル他



連絡先：東京都公立中学校 PTA 協議会 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 1-5-2 (株)ハセベ 3F
 TEL:03-6806-6736 FAX:03-6806-6738 e-mail:jpta@tokyo-jpta.org 事務局：加納